

がん最新治療法学ぶ

徳大 県民フォーラムに600人

徳島県民がんフォーラム(県がん診療連携協議会など主催、徳島大病院がん診療連携センター、徳島新聞社共催)が10日、徳島市蔵本町3の同大大塚講堂であり、約600人が最新の治療法や患者の支援体制について学んだ。

県がん診療連携協議会の滝沢宏光会長が「進化するがん対策」をテーマとして講演。がん対策の歴史とこれから」と題して講演。研究が進むゲノム医療について紹介し、「がん組織から異常な遺伝子を見つけ、この遺伝子に効く薬を投与してがんを治せるようになる」と話した。

患者の支援体制については、緩和ケアなどが充実してきたものの「情報が少なく恩恵を受けている患者が少ない」と述べ、周知の在り方に課題があると指

摘した。この後、県保健福祉部の鎌村好孝次長が、県が取り組むがん対策などを紹介した。



最新のがん治療法などについて講演する県がん診療連携協議会の滝沢会長＝徳島市の徳島大大塚講堂

（藤川佳宏）